

製品名: DR4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10150**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	TNFRSF10A TNFRSF10A; APO2; DR4; TRAILR1; Tumor necrosis factor receptor superfamily member 10A;
別名	Death receptor 4; TNF-related apoptosis-inducing ligand receptor 1; TRAIL receptor 1; TRAIL-R1; CD antigen CD261
遺伝子 ID	8797.0
SwissProt ID	O00220
免疫原	抗血清はヒト TNFRSF10A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 401-450

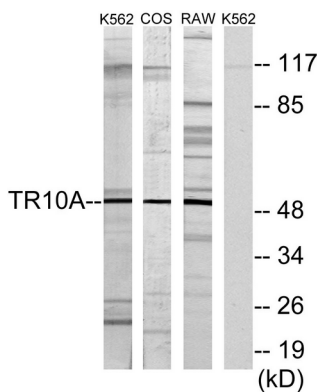
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF 受容体スーパーファミリーのメンバーです。この受容体は、腫瘍壊死因子関連アポトーシス誘導リガンド (TNFSF10/TRAIL) によって活性化され、細胞死シグナルを伝達して細胞アポトーシスを誘導します。FADD 欠損マウスを用いた研究では、デスドメインを含むアダプタータンパク質である FADD が、このタンパク質を介したアポトーシスに必要であることが示唆されました。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 細胞傷害性リガンド TNFSF10/TRAIL の受容体。アダプター分子 FADD は、活性化された受容体にカスパーゼ 8 をリクルートします。結果として生じる細胞死誘導シグナル複合体 (DISC) は、カスパーゼ 8 のタンパク質分解活性化を引き起こし、これがアポトーシスを誘導するカスパーゼ (アスパラギン酸特異的システインプロテアーゼ) のカスケード反応を開始します。NF- κ B の活性化を促進する。類似性: デスドメインを 1 つ含む。類似性: TNFR-Cys リピートを 3 つ含む。サブユニット: TRADD および RIP と相互作用する。ARAP1 と相互作用する。組織特異性: 広く発現している。脾臓、末梢白血球、小腸、胸腺に高濃度で存在するが、K562 赤白血病細胞、MCF7 乳癌細胞、活性化 T 細胞にも高濃度で存在する。、

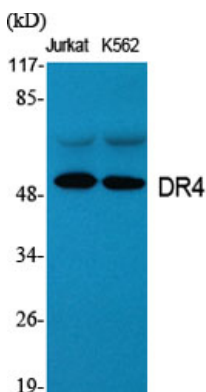
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害性;

画像データ



TR10A 抗体を用いた K562 細胞、COS7 細胞、RAW264.7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



DR4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析

DR4 ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析

